

委員会活動報告書

委員長名 村嶋 幸代

【委員会名】 教育評価準備委員会	
【メンバー】 ◎村嶋 幸代(湘南医療大学)、○神崎 由紀(山梨大学)、¥矢島 正榮(群馬パース大学)、 麻原 きよみ(大分県立看護科学大学)、荒木田 美香子(川崎市立看護大学)、小野 治子(大分県立看護科学大学)、中山 直子(神奈川県立保健福祉大学)、西出 りつ子(名古屋学芸大学) オブザーバー 岩本 里織(神戸市看護大学) 50音順、◎委員長、○副委員長、¥会計担当、*会員校以外の委員、()所属名	
【活動方針】 1. 保健師教育の評価に向けて、評価する組織や体制、評価方法、評価の内容について検討する。なお、評価体制に関しては、第三者評価の可能性の有無も理事会に検討を促す。 2. 令和4年度に実施した会員校の意向調査の結果を踏まえて、評価について理事会で意思決定する。 3. 理事会の意思決定を受けて、保健師教育の評価について会員校と関係機関の合意を得る道筋をつける。	
2024(令和6)年度	
達成目標	1. 保健師教育の評価に向けて、評価する組織や体制、評価方法、評価の内容を検討し作成する。 2. 保健師教育を評価する組織や体制、評価方法、評価内容の方向性を理事会で決定する。 3. 理事会の決定を受けて、保健師教育の評価について会員校に周知し、合意を得るための道筋をつける。 なお、評価体制に関しては、第三者評価の可能性の有無も理事会に検討を促す。
活動報告	1. 委員会をオンラインにて6回実施した。 理事会や総会での議論を重ね、『2028(令和10)年度に試行審査を実施し、2030(令和11)年度から本審査とする』スケジュール案を作成した。 2. 2023年度と同じく、体制WGと評価項目WGの2つに分かれて、評価の実施に向けて検討した。 【体制WG】神崎副委員長をリーダーとして、オンラインにて3回実施した。規定の作成、評価組織・事務局整備と予算計画について検討した。組織図の案は、創設期と将来に分けて検討した。 【評価項目WG】西出委員をリーダーとして、オンラインにて3回実施した。教育体制委員会が作成した、「保健師教育課程の質を保証する評価基準(2024年改訂版)」の9項目をベースとして、第10項目(当該保健師教育課程の特長と評価の総括)を追加し、自己評価ではなく保健師教育評価のための第三者評価用の規準について試案を作成した。 今後は、①評価の位置づけの明確化、②評価体制の構築(規程類や事務局体制の検討)、③ 3. 評価の実施に向けた準備(評価項目や手引き、評価者の育成等)が必要である。